

令和7年9月9日

関係機関の長 殿

国立大学法人鳥取大学農学部長
明石 欣也 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

下記により、本学部の教員を公募いたしますので、関係各位に周知方よろしくお願い申し上げます。

記

1. 公募する職と人数

准教授、講師又は助教 1名 (女性限定)

2. 所 属

生命環境農学科 生命環境農学講座 食品科学教育研究分野

3. 応募資格

- (1) 博士の学位を有する者 (着任までに取得見込を含む。)
- (2) 食品科学分野での研究と農業への応用に関する、以下のような教育・研究に熱意を持って取り組める人材。
 - 1) 食品の特性解明や機能性成分に関する研究
 - 2) 食品の加工や製造および評価等に関する技術開発
 - 3) 地域の農水産物を利活用した機能性食品素材の開発や機能性を付与した農産物の開発
- (3) 鳥取大学農学部教員選考基準 (資料1) を満たしていること。
ただし、助教での採用を希望する場合には、着任までに博士の学位を取得する予定の者も含む。
- (4) 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程農学専攻が担当できること (資料2)。
- (5) 全学共通科目・一般教養科目 (生物学または化学) 等を担当できること。
- (6) 教育職員免許状関係授業科目 (生物学実験演習または化学実験演習等) を担当できること。
- (7) 授業及びその他の業務に支障のない日本語能力を有すること。

(8) 女性であること（本公募は女性限定です）。

「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置。

※資料1および2は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードしてください。（<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>）

4. 担当授業科目等

(1) 学部：担当教育コース 農芸化学コース

食品科学 I・II、基礎生命科学（分担）、化学系基礎実験 I・II（分担）、農芸化学実験 I・II（分担）、基礎農芸化学演習 I・II（分担）、生命環境農学演習 I・II、卒業研究

全学共通科目・一般教養科目（生物学または化学）、教育職員免許状関係科目の生物学実験演習または化学実験演習等を担当できること。

(2) 大学院：持続性社会創生科学研究科博士前期課程 農学専攻

食品・栄養化学特論（分担）、生命環境農学特論 III（生命環境科学）（分担）、農学特別演習 I・II 等

5. 契約期間・待遇

(1) 任期を定めない。

(2) 年俸制（本学の定年は65歳です。給与、勤務時間、休日及び保険等については、本学の規程に基づき決定します。）

（参考）鳥取大学年俸制教員給与規程

https://www.tottori-u.ac.jp/kouhou/kisokusyuu/reiki_honbun/u095RG00000655.html

（参考）鳥取大学職員就業規則

https://www.tottori-u.ac.jp/kouhou/kisokusyuu/reiki_honbun/u095RG00000319.html

※年俸制に関してご不明な点は下記にお問い合わせください。

担当：総務企画部人事課給与係

TEL：0857-31-5014

E-mail：ge-kyuyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp

6. 提出書類

- | | |
|---------------------------------|-------|
| (1) 履歴書（記入要項参照） | 1 通 |
| (2) 調査書（記入要項参照） | 1 通 |
| (3) 調査書に挙げた著書、原著論文及び総説の別刷（複写も可） | 各 1 部 |
| (4) 主要研究業績の概要（2,000 字程度） | 1 部 |
| (5) 教育研究に対する抱負（1,200 字程度） | 1 部 |

- | | |
|-----------------------------|-----|
| (6) 推薦者がある場合は推薦書 | 1 通 |
| (7) 学位記の写し又は学位取得（見込）証明書 | 1 通 |
| 2026 年 3 月に学位取得予定の者は指導教員の所見 | 1 通 |

※記入要項は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードしてください。
(<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

7. 応募締め切り

令和 7 年 1 1 月 1 0 日（月） 必着

8. 選考方法

書類選考の後、最終候補者によるプレゼンテーションと面接を行います。なお、面接等に伴う旅費・宿泊費等は各自で負担をお願いいたします。

9. 採用予定年月日

令和 8 年 4 月 1 日

10. 書類送付先および問い合わせ先

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4 丁目 101

鳥取大学農学部 生命環境農学科

食品科学教育研究分野教員 予備選考委員長 石原 亨

電話：0857-31-5361

E-mail：aishihara@tottori-u.ac.jp

※封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留等でお送りください。
なお、応募書類は原則返却いたしません。著書等の返却を希望される場合は、その旨をお知らせください。

11. その他

鳥取大学は男女共同参画を推進しています。また、鳥取大学及び鳥取県は家族を大切に
し、働きやすい環境づくりを進めています。

- ・鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室

<https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>

- ・鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター

<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/worklife/>

- ・鳥取県の「子育て王国とっとり」

<https://www.kosodate-ohkoku-tottori.net/>

付記)

1. 生命環境農学科には教員組織として生命環境農学講座があり、教育コースとして国際乾燥地農学、里地里山環境管理学、植物菌類生産科学、農芸化学の4つのコースがあります。農芸化学コースは、次の教育目的と教育目標を掲げています。

【教育目的】

化学と生物学、微生物・植物・動物の基礎から応用までを幅広く学び、生物資源や食品、環境などに関連した様々な知識と技術を有した人材を養成します。

【教育目標】

- (1) 生化学・分析化学・食品科学・生物学に関わる「化学」と「生物学」両方の基礎的専門知識と技術を学んだ視野の広い人材を育成します。
 - (2) 微生物、植物、食品などに関係した多岐にわたる基礎・応用実験を通じて、実践力と課題探求能力、研究開発能力を養成します。
 - (3) 講義で学んだ知識と実験・演習で獲得した技術を統合して、新たな発見や問題解決へ向けた独創的な思考力を養います。
2. 将来的にカリキュラム・教育コースを再編した場合は、担当講義・担当教育コースが変更となる場合があります。
 3. 本学科の教員は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科、山口大学大学院創成科学研究科のそれぞれの博士前期課程（修士課程）を基盤として編成される鳥取大学大学院連合農学研究科において、博士後期課程（博士課程）の教育・研究指導も担当しています。

以上